

分散エネルギーシステムの市場づくりに向けた スマートエネルギーシステム技術講座

概 要

2016年より施行される電力自由化を視野に入れ、ICT技術とエネルギーインフラとが融合した分散型エネルギーシステムの市場やビジネスモデルの共創が活発化してきている。

従来のデマンドレスポンスのほか、需要家側が連携した地域レベルでのピークカットやピークシフトを自律的に行う系統アシスト機能など、集中型と分散型の高度な協調システムを備えるインフラが整備され、電力逼迫時におけるブラック・アウト（停電／大停電）を防ぐとともに、災害に強い街づくりも進められている。

また、分散型エネルギーシステムの運用に向けて、SVA(スマートシステム検証技術協会)が進められている第三者認証用のフレームワークを参考にしながら、システムの安全性、信頼性、そして、セキュリティの向上も図られている。

この講座では、急速に拡大する分散エネルギーシステムの市場の背景と、最新のスマートエネルギーシステム技術を解説する。

日 時	平成26年 3月 5日(水) 【受付】13:00 【講座】13:30～17:00
会 場	福岡SRPセンタービル（福岡市早良区百道浜2-1-22）

主 催	福岡市
実 施	九州組込みソフトウェアコンソーシアム（QUEST）
後 援	福岡スマートハウスコンソーシアム スマートシステム検証技術協会（SVA）
企 画	(株)スマートエナジー研究所
定 員	60名
参加費	無料

お申込み	下記のサイトより、お申込みください。 http://www.quest9.org 受付は先着順で行い、定員に達した場合はその時点でお申し込みをお断りする場合がございますので、お早めのお申し込みをお願いいたします。
------	--

お問合せ	特定非営利活動法人 九州組込みソフトウェアコンソーシアム（NPO法人QUEST） 先進的組込みソフトウェア技術者育成事業 運営・企画室 TEL / FAX : 092-846-1600 Email : register@quest9.org
------	---

個人情報利用目的：個人情報につきましては、本講座の開催目的以外には使用いたしません。



Smart Energy Laboratory Presents

13:30 - 14:40	エネルギー事情の背景と分散エネルギーシステムの市場づくりに向けて	
		(株)スマートエナジー研究所 CTO / ファウンダ 福岡スマートハウスコンソーシアム 代表 スマートシステム検証技術協会(SVA) 副理事長 中村 良道 氏 分散電源（太陽光発電、燃料電池）など、インテリジェントな電源の設計開発に、20年以上携わる。その経験をもとに、持続可能な低炭素社会の実現へ向けて「自律的なエネルギーシステム」のビジョンづくりや、先進的なモデルベース開発手法を用いたシステム構築を行っている。そして、各地域に合ったコンソーシアムの企画推進などのコンサルティングを行っている。 概要2010年に発足した福岡スマートハウスコンソーシアムでは、当初より「分散型エネルギーシステムの普及後の社会」を見せること、そして、「分散型エネルギーシステムの開発・検証方法」を確立する活動を行ってきた。 自然の普遍性に学んだ生命観に基づくコンセプトを具現化した最新のエネルギーシステムを解説するとともに、これからの分散エネルギーシステムの市場づくりに向けた取り組みを紹介する。
14:40 - 14:50	休憩	
14:50 - 15:40	最新のモデルベース開発の実際とスマートシステムの検証技術について	
		dSPACE Japan(株) 代表取締役社長 横浜スマートコミュニティ 代表 スマートシステム検証技術協会 理事長 有馬 仁志 氏 東海大学専門職大学院卒業。1982年より国内機器メーカーで制御系システム開発やTRONの開発を担当。2011年より長崎総合科学大学大学院新技術創成研究所客員教授、九州工業大学情報工学部客員教授。スキルマネージメント協会副幹事・モデルベース設計検証技術部会担当。2011年6月横浜スマートコミュニティ代表に就任。また、2013年からは、一般社団法人スマートシステム検証技術協会理事長に就任。電気自動車普及協議会幹事に就任。 概要モデルベース開発は、自動車産業や、航空機産業における環境性能や安全機能を実現する開発手法として、広く利用されてきた。この設計手法は、スマートハウスやE Vの充電器の開発にも適用されている。 またこれらの応用においては、情報機器との接続など複数の企業から提供される装置を組み合わせたシステムとして構成されるようになっている。このような全体システムとしての信頼性、安全性など、利用者が求める品質を第三者が検証するための検証手法・検証技術を確立するための活動として、一般社団法人スマートシステム検証技術協会(SVA)についても説明する。
15:40 - 15:50	休憩	
15:50 - 16:40	スマートシステムの安全性確保に向けて	
		九州大学大学院 システム情報科学研究院 情報知能工学部門 学術研究員 谷津 弘一 氏 形式言語の標準化活動への参加、形式手法の研究、および形式手法の現場への適用に従事。2011年～情報処理推進機構(IPA)ソフトウェアエンジニアリングセンター(SEC)。次世代の社会情報基盤システムの安全に、かつ安心して使用するためにシステムに組み込まれているソフトウェアの不具合をできるだけ自動的かつ迅速に検出する技術を研究開発している。
16:40 - 17:00	質疑応答	